

6月 定例教育委員会会議録

1	日 時	令和元年6月27日(木) 午後5時30分から午後6時38分まで
2	会 場	磐田市役所 西庁舎3階 特別会議室
3	出席者	村松啓至教育長 鈴木好美委員、青島美子委員、杉本憲司委員、秋元富敏委員
4	出席職員	市川暁教育部長、藺田欣也教育総務課長、川倉彰裕教育総務課参事兼学府一体校推進室長、加藤計吾児童青少年政策室長、木野吉文学校給食課長、小澤一則学校教育課長、伊藤八重子中央図書館長、高梨恭孝文化財課長、磯部公明地域づくり応援課長、鈴木都実世幼稚園保育園課長
	傍 聴 人	0人

(進行委員：青島美子委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

みなさんこんにちは。定例教育委員会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

先日の本会議及び民生教育委員会において、前回の定例教育委員会で審議された「令和元年度ながふじ学府一体校建設工事請負契約の締結」に関する質疑が行われました。これを受けて、7月3日の議会最終日に採決されます。また、向陽学府のこれからの進め方についても議会で議論が交わされ、「新時代の新たな学校づくりとして、子どもたちの教育環境を第一に考えること」、「地域の教育力を生かした学校づくりを行うこと」、「基本的には未来型学府一体校を目指していくこと」、「地域と話し合いを行い、堅実に進めていくこと」を確認させていただきました。

子どもの安全・安心についてですが、痛ましい交通事故、悲しい虐待の問題など多くの報道がされています。聞くたびに心が痛み、やるせない気持ちになるのは私だけではないと思います。学校には再度、安全に留意するよう注意を促しました。また、危険個所の点検については、日ごろから、学校教育課が警察、市の関係各課と合同で点検を行っていますが、今後も通学路の安全対策については十分連携して取り組んでいきます。また、子ども自身が自分の命を守るスキルを身につけることも、大切であると考えています。交通ルールを守ることは、当たり前のことだと思いますが、交差点では「止まる」「見る」「待つ」を徹底していきたいと思います。特に、交差点での「見る」は運転者を子どもたちが見ることが大切であり、子ども特有の独りよがりにならないように注意させたいものです。止まってくれた車に対し、ありがとうと言えるぐらいの余裕を持たせたいと思います。

先日、テレビで子どもをクールダウンする方法について放映していました。その中で、ついつい赤ちゃんや小さい子が泣き始めると、お母さんもヒステリックになり、「何でそんなに泣くの」と言って対応する場面がありました。そのような場面のときには空間と時間をつくり、子どもも親も一つ冷静な状況をつくるのが大切であり、虐待防止につながると思います。身近であればあるほど、このことが必要になってきます。何事もそうですが、無我夢中になっているときは周りが見えにくいことが多く、少し立ちどまって見ることも必要であることを自覚しないといけないなと思います。

子どもたちの安全については、いろいろと配慮しないといけないことが数多くあり、細心の注意を払って今後も取り組んでいきたいと思います。

3 前回議事録の承認

5月30日定例会教育委員会、6月13日臨時教育委員会

○5月30日の定例会での、体育館使用料の件について、再度確認させていただきたいのですが、小・中学校体育館の照明使用料は、10月1日からの消費税増額分が加算されるということですが、体育館LED化に伴い電気料が下がる分の使用料への反映について、今後の方向性がわかれば教えてください。

○LED化に伴う使用料の見直しで、交流センターの場合は、LED化された交流センターの電気使用量実績を一定期間調査したうえで、その翌年度に料金改定をすることを考えています。

○磐田市内一律で照明使用料が下がることはありますか。

○基本的にはLED化が終了した施設から使用料が改定されるものと考えています。

○利用団体としてはできるだけ早く料金改定されることを望んでいますので、ご検討のほどお願いします。

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 令和元年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会の教育委員報告

○研修会は文科省の動向説明と金田一先生の記念講演がありました。会場がメインとサブとで分かれていて、我々はサブ会場でした。大型モニターを見て総会等に参加している状況でしたので、文科省の説明は、会場の音声環境が良くなかったせいか聞き取れない状況でした。金田一先生の記念講演は「人生100年時代を見据えた教育のあり方」がテーマで、我々にとって非常に実りあるものでした。

教育へのヒントということで、学生の共同生活やボランティア活動が人間力を磨くという話がありました。先生が在籍する長野の大学は全寮制であり、そこで共同生活やボランティア活動をさせると、9割の学生が非常に役に立っていると感じているそうです。

日本人は自己肯定感が低いという話を聞きます。これを改善させるために、プレゼンをさせ、どのような順番で話をするのかを学ばせるそうです。

AIは知識があっても文章の読解力は人間より劣るということでした。読解力は国語の力であり、そのことはとても大事なことだと感じました。

読書はいろいろなことを知るという意味においても非常に大切なことで、ビル・ゲイツが今でも毎日30分読書をしていることや、大学で学んだ知識は10年も経てば古びてしまうということ、今の知識を増やしていかなければならないと感じました。

知る楽しみ、学びを喜ぶ人生でありたいということで、アフリカから人類が好奇心のもとに、世界に広がっていったという話を聞き、好奇心は人間である以上、大事なことで、いつも持ち続けていきたいですし、その好奇心がいろいろなことを学ぶ原動力になるのだと感じました。

幸せな生き方とその選択について話をされていて、専門性を持つということが幸せな生き方につながるということが印象的であり、いつでも専門性を含めて頑張っていけないと痛切に感じました。

健康は心の笑いからということを知り、私たちは健康ということ、いろいろなスポーツやウォーキングをすぐに考えがちですが、笑いは全く副作用のない精神安定剤であるという言葉が心に残りま

した。

○山梨県北杜市は、学生時代に登山をやっていて、よく訪ねた土地でもありました。市の名前の由来は、周りは八ヶ岳、南アルプス、それから奥秩父、ここに囲まれた小さな森、だからその森は三つの林じゃなくて土に木が立った、いわゆる杜の北杜市という意味だそうです。

文科省は教育の情報化の推進の話をしてくれました。発言者は小等中等の特に外国語教育を担当された課長補佐でした。来年4月から学習指導要領が全面实施されることを受け、情報に特化した話をされました。情報活用能力の育成という、プログラミング教育の必修化と、学校におけるICT環境を活用した学習活動の話をされました。

国は5カ年計画で毎年度1,800億円という大きな数字を挙げています。二日ぐらい前の新聞にも義務教育、小中高、特別支援も含めて2025年までに一人につき一台の教育用パソコンもしくは、タブレットを配置することが新聞に載っていました。これからの社会では、IoT、ロボット、人工知能、ビッグデータなどがあり、子どもたちは避けて通れません。新しい価値やサービスが作り出されるような社会「ソサエティー5.0」と、文科省は言っていますが、それに対応した実務的な話だと感じました。

記念講演は金田一真澄先生が「100年時代を見据えた」という意味で、マハトマ・ガンディーの言葉を挙げていました。「あす死ぬかのように生きよ。」「永遠に生きるかのように学べ。」今の今を大事に生涯学び続けることの大切さを述べているのだと思いました。ご存知のとおり、祖父が金田一京助、この方はアイヌ語教育で民俗学者です。それからお父様は春彦氏とあって、国語辞書の編纂などもされている有名な方です。真澄先生は小さい頃から反発心があり、国語が苦手ということで早稲田大学の理工学部に入り、半導体の研究をされたそうです。結局、修士課程を経た時点で、言語学の研究へ変わったそうで、慶應義塾外国語学校に行き、ロシア語の研究をされたそうです。理系の先生であるということもあり、観念的でなく、科学的な視点で話をしていただき非常に分かりやすかったです。

読書は人生100年時代の中での必須アイテムであり、これから学び続ける上で必要なことだと話していました。読解力を高めることで、AIの時代にあっても人が活躍の場を確保し、より幸せに生きられるスキルとして求められるとのことでした。

長野県立大学は全寮制で、ディスカッションを非常に大事にされているそうです。したがってこの大学が実践した対話は、プラトンが言っているようなアカデミアを目指していると金田一先生は言われていて、大事なことだと思いました。

○記念講演では、プレゼンテーションを学ぶことの重要性の話が印象的でした。先生の大学では、共同生活、ボランティア活動、全員留学をさせているとのことで、県立大学にも関わらず、すごいことだと思いました。

金田一先生は、大学の先生はすごく楽なのではないかと思い、大学の先生になったそうです。そんな先生が小学校の先生はすごく真面目だということをお話していました。それは、小学校の先生の授業を見させていただいたときに、小学校の先生は授業をととても工夫していると感じたそうです。大学の先生は好きなことをしゃべり、興味があるだろうということを学生に伝えれば良いけれども、小学校や中学校の先生は興味のない子どもたちに、どのように興味を持たせ、教えるかという事に、大変な時間を割いているのだと感じたそうで、大学の先生は小中学校の授業を見るべきだと言っていました。文科省がプログラミング教育や英語教育という指針を示した場合、大学の先生は嫌がりますが、小中学校の先生はととても真面目にやってくくださるので、無理をしないように体を壊さず頑

張ってくださいという趣旨の話もされていました。教育委員に向けての話で、みなさん頑張ってくださいという気持ちが伝わる講演でした。

○印象に残ったのは読書を大事にしてほしいということでした。学生たちに本を読んでもらいたいということで寮に随分たくさんの本を持ち込んでいるそうです。

金田一先生は話し方の勉強の重要性、必要性について話をされていて、そのとおりで改めて実感しました。

5 教育部長報告

6月議会につきましては、7月3日までということで開催中です。議案については、条例と補正予算で15件、さらに追加上程があり、計19件を審議しています。教育委員会からはご審議いただいた、ながふじ学府一体校の補助金の予算の変更と、消費税に係る利用料の変更などが上程されています。また追加議案として、ながふじ学府一体校の建築、電気、給排水、厨房の4件を、6月臨時会の審議を経て上程しています。

一般質問につきましては、14人の議員から通告があり、そのうち7人が教育委員会に関するものです。内容としては、御厨新駅の開業と古墳の活用、運動会の開催時期、滋賀県大津市の交通死亡事故を受けた安全点検、部活動ガイドライン、ながふじ学府一体校の通学、特別支援学級と空調設備、骨髄ドナー、吃音教室、向陽学府の一体校の方向性など、幅広い質問がありました。特に複数の議員から質問があったのは、通学路の安全点検、小中学校の空調設備の状況についてでした。

<質疑・意見>

なし

6 議事

・議案第13号 令和元年度磐田の教育について

○内容につきましては、大きな変更はございません。ただし、ホームページのリニューアルに伴って新しいホームページアドレスとQRコードを掲載するようにしています。また表紙の写真につきましては、関係する写真を選んで関係者に了解を得た上で掲載する予定です。

<質疑・意見>

○教育委員会のリーフレットを作成したときも少し触れましたが、平成30年度と平成31年度に文科省の研究指定校になっている道徳の項目を挙げたらいかがでしょうか。

非常に大きな取り組みをされていて、磐田市のみならず全国的な影響力を持った一つの取り組みがなされているという意味では、重要な課題への取り組みの中に、一つの項目としてあってもいいのではと感じました。

○道徳教育の推進で、文科省からの指定事業ということで、道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業を研究し道徳教育の実施を図りますという表現を掲載させていただいています。

今年度は9月25日に中間発表会、11月6日に発表会を実施します。磐田市ではこれをすごく大事にされていて、例年、道徳教育の推進の研修会も実施しています。このような記載で広めていくということで御理解をいただきたいと思います。

○道徳教育の推進は、その内容の研究をやっているということだけが重要ではなく、磐田市全体に広めていくことが重要であり、みんなで勉強しましょうということも大事だということです。

磐田市総がかりで実施していきたいと思います。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 13 号は原案どおり承認された。

・議案第 14 号 磐田市社会教育委員の委嘱等について

○現在の委員の任期が令和元年 5 月 31 日で満了を迎えたことから新たに選任するものです。

社会教育委員会は任期 2 年の活動成果として提言書を教育委員会へ提出し、提出した段階で任期満了という形となっていました。3 月 20 日の定例教育委員会にて報告させていただきましたが、委員の意見の中には 2 年おきに提言書により意見を述べているものの、その後の取り組み状況や検証がなされていないということがありました。令和元年から 2 年間の取り組みにつきましては、新たな提言は一旦行わず、これまでの提言書の内容について、踏み込んだ協議・検討等を行い、進捗状況などの検証期間としたいということで、今回、委員の委嘱につきましては現在の委員全員を継続し再任するものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 14 号は原案どおり承認された。

・議案第 15 号 磐田市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱等について

○磐田市立小・中学校通学区域審議会は、磐田市立小学校及び中学校の通学区域の適正化を図るため位置づけられている審議会です。磐田市立小・中学校通学区域審議会条例第 3 条により、審議会は委員 12 名以内をもって組織し、市議会議員、自治会代表者、PTA 代表者、小中学校長、学識経験者、市の職員の中から、教育委員会が委嘱し又は任命するものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 15 号は原案どおり承認された。

7 報告事項

(1) 地域づくり応援課

<質疑・意見>

なし

(2) 幼稚園保育園課

今後の予定について追加説明させていただきます。7月1日に、「仮称聖隷こども園こうのとり富丘」の起工式を行うことになりました。来年の4月1日から幼保連携型認定こども園として開園します。場所は、富丘地内で磐田警察署の北側、県立農林大学校の西側で元SBSのマイホームセンター跡地です。幼保連携型認定こども園に、児童発達支援事業所と訪問看護ステーションを併設しており、これは全国で初めての例になります。こういった施設ができることで、待機児童の解消につながることはもちろん、医療的ケアが必要な子どもたちであっても利用できるという複合施設になります。このようなことから健常の子どもたちと、医療的ケアが必要な子どもたちが、施設内で交流することができ、子ども同士の交流による育ち合いということが期待できます。また、医療的ケアのお子さんを育てていらっしゃる保護者の方たちも、就業することができるという可能性が広がることで、いろいろな選択肢が広がる環境になるのではと考えています。

<質疑・意見>

なし

(3) 教育総務課

<質疑・意見>

なし

(4) 学校給食課

・給食調理等業務委託業者選考結果について

7月末で竜洋東小、富士見小、竜洋中、大原学校給食センターの給食調理・配送等業務の委託期間が満了するため、8月1日からの新たな委託業者を決めるための選考を実施しました。

委託の期間は、いずれの施設も令和6年7月31日までの5年間となります。選考の結果、竜洋東小学校、富士見小学校、竜洋中学校の委託業者は従前と同じ㈱メフォスになりました。

また、大原学校給食センターの委託業者は㈱ジーエスエフに変更になりました。

なお、市内の給食施設の委託化の状況ですが、3つの給食センター全てと5つの単独調理場の調理業務等が委託化されています。本年8月1日以降の請負業者については、竜洋東小学校、富士見小学校、竜洋中学校及び豊岡学校給食センターが㈱メフォス、磐田北小学校及び大原学校給食センターが㈱ジーエスエフ、東部小学校及び豊田学校給食センターが㈱東洋食品となります。

<質疑・意見>

○磐田市内で業者委託をしている学校は何校ありますか。

○豊田地区、豊岡地区の小中学校は全てセンターで、委託されています。旧磐田地区の中学校と福田地区の小中学校は委託されています。旧の磐田地区小学校と竜洋地区の小中学校が残りますが、竜洋東小学校、竜洋中学校、富士見小学校、磐田北小学校と東部小学校が委託されています。従って市内小中学校32校中、22校が委託化されており、10校が委託されていません。

調理員についてですが、正規の調理員の新たな採用は実施していないため、正規調理員の退職に合わせて委託を進めていく予定です。

○10校の自校式給食の献立は毎日一緒ですか。

○献立はセンター式と自校式で分かれ検討を行っています。自校式の学校用に共通する基本献立を作成した後、各学校の状況に合わせてアレンジを加えています。

単独調理場とセンターとを比較した場合、それぞれ良さがあるものですから、一概にどちらが良いということは言えない状況です。

○今後の給食の提供方法については、将来的なことを考慮し、学府一体校構想も含めて学校給食課で考えてくれています。

○ながふじ学府一体校に調理場ができることは決定していますので、あの程度の規模になると、センターと単独調理場の中間的な小さなセンターのようなイメージになると思います。

○富士市などは大型給食センターをつくらうとしています。例えば、大垣市にはものすごく大きな給食センターをつくっているようです。磐田市にとって長い目で見たときに、センターをつくるのがよいのか、共同調理場のような中規模をつくるのがよいのかは、いろいろ試算した中で、今のところ学府ごとの給食施設が一番将来的に経済的ではないかという結論に達しているところです。いろいろと環境が変わるなかで、一生懸命検討しているところです。

○大規模な給食センターにすると経費が節減できるような意見もありますが、中に入れる調理用機械が高額で、20年や15年のサイクルで入れ替えないといけないこともありますし、建物の修繕費もあり、それらの要因で経費が思いのほか掛かる場合があります。

学府毎の調理場とした場合は、大規模災害等で市内の一部の施設が使えなくなったときなどのリスク分散にもつながると考えています。

(5) 学校教育課

実施済事業の劇団四季こころの劇場についてですが、磐田市民文化会館の閉館に伴い、来年度は菊川市文化会館アエルにて開催を予定しています。会場使用料等の予算化が必要になると考えています。

<質疑・意見>

なし

(6) 中央図書館

<質疑・意見>

なし

(7) 文化財課

<質疑・意見>

○予定事業にある、8月18日の奈良女子大の講演会に案内はありますか。

○パンフレット等できていませんので、次回のときにお知らせいたします。

8 協議事項

なし

9 その他

なし

10 次回教育委員会の日程確認

- ・臨時教育委員会

日時：令和元年7月12日（金） 午後2時00分から

会場：市役所西庁舎3階 302・303会議室

- ・定例教育委員会

日時：令和元年7月25日（木） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

11 閉会